

「日本近代洋画への道 ～山岡コレクションを中心に」展

会場：鶴岡アートフォーラム ギャラリー1・2

会期：2009年7月25日(土)～8月23日(日)

26日間 月曜休館

このたび鶴岡アートフォーラムでは、財団法人日動美術財団の全面的な協力のもと、特別展覧会・全国巡回展「日本近代洋画への道 ～山岡コレクションを中心に」展を開催します。

幕末から明治期にかけて、西洋からさまざまな文化が流入し、日本の歴史の中で政治的にも文化的にも大きな転換期となりました。美術の世界においても、西洋絵画（油絵）がもたらされ、日本の画家たちは初めて目にする写実的で迫真的な表現に驚きを受けました。その「リアリズム（写実主義）」に魅了された彼らは、西洋絵画の技法を身につけようと試行錯誤を繰り返しながら技術と表現を学びます。こうして日本の近代洋画は歩みはじめました。

本展では、日本近代洋画史の貴重な宝庫である〈山岡コレクション〉を中心に、71名の作家による180点の作品を紹介し、日本の洋画草創期を振り返ります。

* 〈山岡コレクション〉

日本におけるディーゼルエンジン開発のパイオニアである、故・山岡孫吉氏（1888-1962、ヤンマーディーゼル創業者）が収集した作品群です。

研究者の間でながらく〈幻のコレクション〉とされてきましたが、2001年に山岡孫吉氏のご子息である山岡淳男氏（ヤンマー株式会社代表取締役会長）により笠間日動美術館におさめられ、全国の美術館で順次公開されています。

■展覧会

鶴岡アートフォーラム特別展覧会・全国巡回展

「日本近代洋画への道

～山岡コレクションを中心に」展

【会期】7月25日(土)～8月23日(日) 26日間

月曜休館

【会場】鶴岡アートフォーラム ギャラリー1・2

【開場時間】9:30-19:00（入場は18:30まで）

【観覧料】

一般 500 (400) 円／高校・大学生 300 (240) 円
中学生以下は無料

() 内は20名以上の団体料金

* 心身障害者の方は半額、介助者は無料

* 学校の教育活動として観覧する場合（引率教員含む）は無料

* 高校・大学生には高専生、専門学校生を含む。

主催：鶴岡アートフォーラム／鶴岡市教育委員会

協力：財団法人日動美術財団

後援：山形県／朝日新聞山形総局／河北新報山形総局／

庄内日报社／毎日新聞山形支局／山形新聞／

読売新聞山形支局／NHK山形放送局／

さくらんぼテレビ／テレビユー山形／山形テレビ／

山形放送／エフエム山形

▼裏面もご覧ください

■関連企画

(1) フォーラムイベント・特別講演会

「日本近代洋画と山形」

今回公開される<山岡コレクション>を題材に、郷土ゆかりの作家・作品の話題を交えながら日本近代洋画史をたどります。

【講師】 小林俊介氏

(山形大学地域教育文化学部 准教授)

【日時】 7月25日(土) 19:00~20:30

【会場】 フォーラム(鶴岡アートフォーラム内)

【対象】 一般(先着60名)

【聴講】 無料

【申込】 7月4日(土)より電話(0235-29-0260)

または来館受付

(受付時間 9:30~19:00)

(2) ギャラリートーク

学芸員による作品解説を行います。

【日時】 会期中の日曜日 14:00~15:00

【参加】 申込不要、会場へ直接お越しください

(要観覧券)

*掲載において作品図版使用を希望される際は、JPEGデータをご提供しますので、鶴岡アートフォーラムまでご連絡ください。

■問い合わせ先

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

Tel:0235-29-0260 Fax:0235-22-6051

鶴岡アートフォーラム(担当:小林)

■出品作品紹介

高橋由一<<鮭図>>

板に油彩 1879-80年

山岡コレクション蔵

静物画の「鮭」といえば教科書にも掲載されている、高橋由一の<<鮭図>>(紙に油彩、1877年頃、東京藝術大学蔵・国指定重要文化財)を思い浮かべる方も多いと思います。

今回展示する由一の「鮭」は、もう1点の鮭図として戦前からその存在を知られてきた作品です。板に油彩で描かれ、身は尾の方まで切り取られて荷札がついています。実物大に描かれた鮭は、背景の板の木目が本物であることも相まって、圧倒的な存在感を持っています。

戦後、由一の「鮭」はさらに数点が確認されています。鶴岡アートフォーラムでも、「庄内の美術家たち4~庄内の洋画黎明期」展(2009年2月7日~3月8日)で山形美術館所蔵の<<鮭図>>を紹介したことは記憶に新しいかと思います。日本の近代洋画史を辿る上で欠かすことの出来ない作品と言えるでしょう。

